

西高創世記

二中から西高4万人の青春「百年の物語」より

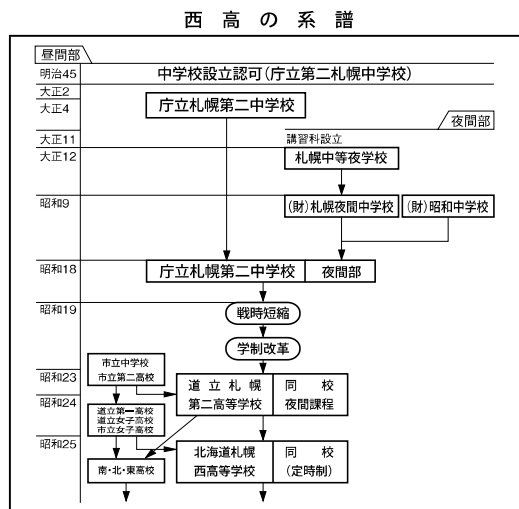
札幌に2つ目の北海道庁立男子校として誕生

当時、札幌には北海道庁立の男子校は札幌中学(旧一中、現札幌南高)だけで、道内に4校しかなかった。札幌の人口が約9万人に膨れあがるとともに、子弟の教育熱も高まり、札幌中学の倍率が約4倍という狭き門となったことから、明治45年(1912年)、道内5番目の庁立男子校として、本校「北海道庁立第二札幌中学校」の開設が認可された。

札幌南高とは兄弟、北高・東高とも家族関係

明治45年(1912年)に、第二札幌中学(本校)と札幌中学(現札幌南高)が、1つの学校のようにまとめられて入学選抜が行われるとともに、札幌中学の校舎を利用して授業がスタートした。1学年5クラスのうち、甲、丙、戊の3クラスが札幌中学、乙と丁の2クラスが本校にあてがわれた。すなわち、札幌中学21期生と第二札幌中学1期生は、同じ試験で入学し同じ校舎同じ先生の下で学ぶ兄弟関係であった。

また、昭和25年(1950年)に、道立札幌第二高校(本校)と札幌第一高校(現札幌南高)、道立女子高(現札幌北高)、市立女子高(現札幌東高)の四校が、男女共学のため札幌東・西・南・北高に再編された。在校生は各校に強制的に移動させられ、級友と泣く泣く別れた。生徒は、移動しても前の学校が忘れられず、東西南北は家族のような関係と言える。



西高はいつも本道を代表するモダン校舎

初代校舎は、大正2年(1913年)に北3条西18・19丁目に建設された。エメラルドグリーンのペンキに塗られた二階建ての当時としてはモダンで洒落た校舎であった。

二代目校舎は、初代校舎焼失により、昭和37年(1962年)に現在地に移転し建築された。お洒落なレンガづくりの校舎で、本道の公立高校のモデルとなるスチーム暖房・水洗式トイレが導入された。

そして、現在、二代目レンガ校舎の面影を正面に残しつつ、三層吹き抜けのアトリウムがあるW型校舎へと、お洒落な校舎の伝統がまた引き継がれた。



たった3ヶ月でも好きになれるのが西高

初代校舎が、昭和35年(1960年)に火災に遭った。駆けつけた教師・生徒が立ち尽くす中、札幌市の消防車全25台が出動し消火に当たったものの、大半を焼失した。教職員・生徒に悲壮感漂う中、1年の女生徒2人が、焼け跡を呆然として歩いているとき、小さなチョークを見付け拾った。一人が、黒ずんだ廊下の外壁に「西校」と書いた。もう一人の生徒が、ぼんの少し前に、学校の横を通った他校生が「西高もなくなくなったなあ」と言っていたのを思い出して、迷わず「消えず!」と続けた。「たった3ヶ月の西高生でも、こんなに西高が好きなの、という思いをようやく誰かに伝えられたような気がした」と言う。この落書きは、西高生の母校を思う強い気持ちの表れであり、新聞に掲載された。



全国屈指の学校を目指して創立

初代校長善波功は、本校を創立するにあたり、北海道の小天地を目標にするのではなく、全国屈指の学校を目指していた。その結果、本校は北海道における模範校となり、当時、道庁ではどの学校を視察したらよいかと問われると、すぐに二中と答えるようになっていた。

善波は、礼節を重んじ生徒に徹底的にたたき込んだ。規律はかなり厳しく、特に服装には厳格であった。遅刻も厳禁である。しかも始業10分前に校門が閉じられた。男女交際など考えられない時代であるため、庁立高等学校(現札幌北高)の寄宿舎のあった北側は通行禁止となっており、生徒は厳格に従っていた。このように、善波の指導の下、二中生徒は礼儀正しく身だしなみがよかったため、世間から「北海道の学習院」と呼ばれるようになっていた。



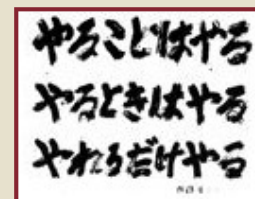
■校訓

「自由」とは、真理と正義を追求し、人格の完成をめざすための基本前提
「自律」とは、その自由を支える精神
「睿智」とは、創造力の基盤となる高い知性
そして、「創造」とは人類の平和と繁栄を希求し、豊かな文化をつくりあげる力。
シンプルな4つの単語に深く大きな意味を込めた西高の校訓は、先輩たちから脈々と受け継がれています。



■西高実行精神

西高生なら誰もが知っている合い言葉。
これに「やれなくてもやる」を付け加えて、叱咤激励する先生もいます。



西高を支援する4つの組織

①西高PTA

PTAは生徒の学校・家庭・社会生活の改善と向上を目的に、保護者と教職員で組織。学年・学級懇談会の実施、広報誌の発行、研修旅行の企画・実施、各種研修への参加や教育相談・行事・保健衛生・図書等、教育活動全般の振興事業支援を行っています。

②西高後援会

後援会は教育活動の推進への後援を目的に、保護者と賛助会員で組織。学校祭バザーの開催、部活動等大会出場生徒への遠征補助、引率教員旅費、部活動環境整備・物品支援、進路指導事業(講習・講演会開催、資料購入)、施設維持等を行っています。

③輔仁会(ほじんかい)

会員のネットワーク構築と西高の発展への寄与を目的に、卒業生等在学した者と名誉会員(教職員)による同窓会組織。輔仁会館(同窓会館)を有し、会の活動をはじめ、在校生の部活動や放課後自習室等で活用されています。10月には総会・懇親会を開催しています。



④一般財団法人 西高会

西高卒業生、PTA役員等を中心に理事や評議員を務める組織。奨学金制度、海外研修補助、学校林・学校花壇整備、部活動環境整備・物品支援等を行っています。また、「西高サポーターズカード」を発行し、その手数料収入を部活動等の助成にあてています。